



学校だより  
かけ橋  
パート V  
横須賀市立汐入小学校 校長室

2016. 3. 16  
No. 28

元気でやりぬく子  
すすんで学ぶ子  
思いやりのある子

## 3. 11を忘れない

3月11日は、東日本大震災があった日です。学校でも、毎年、2時46分に黙祷を行っています。ちょうど5校時目が終わり、1年生は下校してしまっています。2年生以上が学校に残っているので、全校放送で、子どもたちに次のように話しました。

「今から5年前の3月11日。大きな地震があったことを覚えていますか？今の6年生は、小学校1年生でした。その地震でなくなった方が、1万5千人以上。そして、未だに行方不明の方が、2500人以上もいます。そんな方々のことを忘れないように、みんなで黙祷したいと思います。」

全校に静寂が流れました。1分という短い時間ですが、子どもたちの心が一つになった気がしました。

3. 11といえば、原子力発電所の関係で、今でも避難生活を余儀なくされている方々がいます。震災当時、放射能の問題で土砂の測定をしました。その結果、汐入小学校でも、除染基準を超える土砂があることがわかり、取り除いて、子どもたちが近づかない場所に埋めてあります。



百周年の石碑の裏に埋められています。

もちろん、子どもたちの安全は確保されていますが、その土砂の搬出先が決まらず、今でも校地内にあることは、忘れてはいけないと思います。

## 6年生の奉仕作業

卒業を間近にひかえた卒業生が、自分たちの力で、学校を少しでもきれいにしようと活動を開始しました。



14日(月)の5校時に、二手に分かれて、昇降口の大掃除をしました。いつもは、砂やドロがついているところも、用務員さんにポリッシャーで手

伝ってもらいながら、きれいにしました。ホコリをかぶっていた竹馬も、一本一本拭きました。きれいに整理して立てかけて、いつでも使えるようにしました。



冷たい雨が降る最悪のコンディションでしたが、子どもたちは、愚痴一つ言わずに、一生懸命作業していました。「もう終わりにしようか？」と声をかけても、「最後までやる。」と言って続けました。

寒い日だったけど、最後までやりきった6年生。体がポカポカ温かくなるくらいがんばりました。終わったあとは、みんなニコニコしていました。

卒業生のみなさん、ありがとうございました。